

ぼだい樹 号

宝寿院宝物紹介

明治初年明治政府の方針で全国の神宮寺は神仏分離することとなり、千年以上の歴史を持つ津島天王社も、牛頭天王・薬師如来・須佐之男命が、分離されました。

宝寿院には、薬師如来その他仏事に関する宝物・仏具・書籍など全て移管されました。五月のスタンプ・ラリーの開催に当たり、左記の宝物を公開いたします。

三千佛掛図 津島天王社 仏名会本尊

弥陀三尊佛 阿弥陀如来・勢至・観音

弘法大師尊像

神仏分離顛末記 宥三日記

御遺告二十五ヶ条(空海) 写本(鎌倉)

地獄絵図

会場 宝寿院境内北東 光明殿

同時開催

写経会

発行日 2001/5/1

〒496-0581

津島市神明町 2

TEL0567-25-4154 FAX25-4199

写経

写経は誰でも出来ます。

「字が下手だからイヤ。」という声をよく聞きますが、一字を写す度に仏様が生まれます。一枚の用紙の中に、佛様の世界を作っていくのです。一時間程が目安です。

写経をする時は、初めに灯明と線香をあげ、しばらく静かに目を閉じます。次に目を開けて、用紙と向き合い般若心経をとらえた後、丁寧に下敷きの字を写します。

最後に願い事や、供養したい方の名前を書きます。いよいよ完成です。

光明殿の寺宝に囲まれて、写経をする時、

「極楽ってこんな感じですよ。」

宝寿院歳時

大ニユース：五月の庭に「植えてから五十年して、花が付きますよ。」といわれて頂きましたウコンウツギが、二十年目になって、花房が沢山付きました。どんな色なのかと、楽しみに毎日見えています。

ハナミズキ・ドウダン・つつじ・サツキ・カナメガシ・ニシキギ・かりん・紺蠟梅・チンシバイ等百花爛漫です。文旦の木に、沢山つぼみが付きました。白いみかんの花が咲き、甘い匂いを放って蜂を引き付けます。大輪のテッセンの紫や白色・ガーベラの真赤・スズラン・ハーブ達・シラン・えびね・せつこく・ほうちやく草等の山野草が、所せましと咲いています。数年前に頂いた鷲草(サギソウ)が球根を増やして今年も宝寿院産の水ごけの中から芽をだしました。

花は無心に咲いて美しい!

菩提樹(ぼだいじゅ)の葉芽が出てきて、六月の開花を迎えます。素晴らしい香りを楽しみに お出かけ下さい。

青葉まつり 六月・弘法興教大師誕生

おせがき 先祖・水子供養

八月二十四日 9時より

トコロナシ

金魚すくい

もぐもぐ